|  |
| --- |
| アセスメント確認ツール（記入用紙） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 受講者氏名 |  | アドバイザー氏名 |  |
| 利用者情報 |
|  | 性別 | 男性　・　女性 | 年齢 | （　　　　 ）才 |
|  | 介護度 | 要支援１ 要支援２ 要介護１ 要介護2 要介護3 要介護４ 要介護５ |
|  | 障害高齢者の日常生活自立度 | 自立 Ｊ１ Ｊ２ Ａ１ Ａ２ Ｂ1 Ｂ２ Ｃ１ Ｃ２ |
|  | 認知症高齢者の日常生活自立度 | 自立 Ⅰ Ⅱa Ⅱb Ⅲa Ⅲb Ⅳ Ｍ |
|  |
| 記入方法受講者が提出した事例のアセスメントと居宅サービス計画を読んで、以下の各欄に記入してください。記入方法の詳細は別紙「評価の視点・方法」を参照してください。 |

01生活状況から09特別な状況までの各項目について、居宅サービス計画に利用者の課題に関する記載があれば、チェック✔をつけてください

01生活状況から09特別な状況までの各項目について、アセスメントの中で利用者の状況を把握できていることが確認できたら、チェック✔をつけてください。

演習の際に受講者に確認したいこと、伝えたいことを記入してください。たとえばAにチェックがあってBにない場合は、「利用者の状況に何かあると認識しているのに、課題として抽出していないのではないか」と考えて、演習で確認するようにしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項 目 | A状況把握 | B課題抽出 | C確認・伝達 |
| 01生活状況 |
|  | 家族構成・介護者の状況 |  |  |  |
|  | 生活歴 |  |  |  |
|  | 経済状況 |  |  |  |
| 02主訴 |
|  | 利用者の主訴 |  |  |  |
|  | 家族の主訴 |  |  |  |
| 03健康状態・受診状況 |
|  | 既往歴・現病歴・症状 |  |  |  |
|  | 主治医の意見書 |  |  |  |
|  | 服薬状況 |  |  |  |
|  | 口腔・嚥下/褥瘡・皮膚 |  |  |  |
| 04 認知症 |
|  | 認知症状、徘徊・暴言等のBPSD（行動） |  |  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項 目 | A | B | C |
| 05 ADL |
|  | 移動 |  |  |  |
|  | 入浴 |  |  |  |
|  | 食事摂取 |  |  |  |
|  | 排尿・排便 |  |  |  |
| 06 IADL |
|  | 家事（調理・掃除・洗濯） |  |  |  |
|  | 買い物・金銭管理 |  |  |  |
| 07 コミュニケーション |
|  | 意思の疎通 |  |  |  |
|  | 周囲とのかかわり・社会参加 |  |  |  |
| 08 居住環境 |
|  | 室内環境・立地環境 |  |  |  |
| 09 特別な状況 |
|  | 虐待 |  |  |  |
|  | ターミナルケア |  |  |  |
|  |
| D アセスメント、ニーズ、目標、サービスのつながり　　アセスメントから抜け漏れなく課題が抽出できているか、目標やサービスは課題に対して適切に位置づけられているかを記入してください。 |
|  |
| E サービス内容、地域との連携サービスの内容や地域の社会資源との連携について受講者に確認したい点を記入してください。 |
|  |
| F その他　　　　上記の項目以外に、受講者に伝えたいこと、確認したいことがあれば記入してください。 |
|  |